

## 安全データシート

## N-メチルカルバミン酸2-イソプロピルフェニル(別名:イソプロカルブ)

改訂日: 2024-01-29 版番号: 1

## 1. 化学品及び会社情報

## 製品識別子

製品名	: N-メチルカルバミン酸2-イソプロピルフェニル(別名:イソプロカルブ)
CB番号	: CB9380741
CAS	: 2631-40-5
同義語	: N-メチルカルバミン酸2-イソプロピルフェニル(別名:イソプロカルブ)

## 物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途	: カーバメート殺虫剤、軟体動物駆除剤
推奨されない用途	: なし

## 会社ID

会社名	: Chemicalbook
住所	: 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟
電話	: 400-158-6606

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

## 分類実施日

H18.11.20 (環境に対する有害性についてはH18.3.31)、GHS分類マニュアル(H18.2.10 版)を使用

## 物理化学的危険性

火薬類	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス類	分類対象外
高圧ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	分類できない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類対象外

酸化性固体 分類対象外

有機過氧化物 分類対象外

金属腐食性物質 分類できない

#### 健康に対する有害性

急性毒性(経口) 区分3

急性毒性(経皮) 区分外

急性毒性(吸入:ガス) 分類対象外

急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない

急性毒性(吸入:粉じん) 分類できない

急性毒性(吸入:ミスト) 分類できない

皮膚腐食性・刺激性 区分外

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分2B

呼吸器感作性 分類できない

皮膚感作性 区分外

生殖細胞変異原性 分類できない

発がん性 区分外

生殖毒性 区分外

特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) 区分1(神経系)

特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) 区分2(呼吸器)

特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) 区分1(血液系 肝臓)

特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) 区分2(腎臓)

吸引性呼吸器有害性 分類できない

#### 環境に対する有害性

水生環境急性有害性 区分1

水生環境慢性有害性 区分1

#### ラベル要素

##### 絵表示又はシンボル

GHS07	GHS09

#### 注意喚起語

危険

#### 危険有害性情報

飲み込むと有毒

眼刺激

神経系の障害

呼吸器の障害のおそれ

長期又は反復ばく露による肝臓、血液系の障害

長期又は反復ばく露による腎臓の障害のおそれ

水生生物に非常に強い毒性

長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

#### 注意書き

【安全対策】

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

環境への放出を避けること。

粉じん、ヒューム、スプレートの吸入をしないこと。

#### 【応急措置】

飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合、口をすすぐこと。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。

ばく露した場合、医師に連絡すること。

ばく露した時、又は気分が悪い時は、医師に連絡すること。

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

漏出物は回収すること。

#### 【保管】

施錠して保管すること。

#### 【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

---

### 3. 組成及び成分情報

化学名又は一般名	: N-メチルカルバミン酸2-イソプロピルフェニル(別名-イソプロカルブ)
別名	: 2-イソプロピルフェニル-N-メチルカルバメート (2-Isopropylphenyl-N-methylcarbamate)、MCP、MCPA
分子式(分子量)	: C <sub>11</sub> H <sub>15</sub> NO <sub>2</sub> (193.25)
CAS番号:	: 2631-40-5
官報公示整理番号(化審法・安衛法)	: 化審法-(3)-2212 安衛法-4-(6)-184
分類に寄与する不純物及び安定化添加	: データなし
濃度又は濃度範囲	: 1

---

### 4. 応急措置

#### 吸入した場合

医師に連絡すること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

#### 皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

#### 目に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

### 飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

医師に連絡すること。

---

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類

### 使ってはならない消火剤

棒状放水

### 特有の危険有害性

火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。

加熱により容器が爆発するおそれがある。

加熱あるいは水の混入により容器が爆発するおそれがある。

### 特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

### 消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具および緊急措置

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立入りを禁止する。

風上に留まる。

作業者は適切な保護具(『8.ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

### 環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

### 回収・中和

漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。

### 封じ込め及び浄化方法・機材

物質を固化して掻き取る。

本製品は水に浮かぶため火災の危険がある。可能ならば、浮いている製品を封じ込めるよう努める。

## 二次災害の防止策

すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

容器内に水を入れてはいけない。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

#### 局所排気・全体換気

『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

#### 安全取扱い注意事項

周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

飲み込みを避けること。

皮膚との接触を避けること。

粉じん、ヒュームを吸入しないこと。

空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。

排気用の換気を行うこと。

取り扱い後は手を洗う。

眼との接触を避けること。

接触、吸入又は飲み込まないこと。

環境への放出を避けること。

#### 接触回避

データなし

### 保管

#### 混触危険物質

データなし

#### 保管条件

特に技術的対策は必要としない。

酸化剤から離して保管する。

冷所、換気の良い場所で保管すること。

容器を密閉して保管すること。

施錠して保管すること。

#### 容器包装材料

データなし

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

## 管理濃度

未設定

## 許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

日本産衛学会(2007年版)

未設定

ACGIH(2007年版)

未設定

## 設備対策

防爆の電気・換気・照明機器を使用すること。

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

特別な換気要求事項はない。

## 保護具

### 呼吸器の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。

### 手の保護具

適切な保護手袋を着用すること。

### 眼の保護具

適切な眼の保護具を着用すること。

### 皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用すること。

## 衛生対策

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

### Information on basic physicochemical properties

形状	固体
色	データなし
臭い	データなし
pH	データなし
92.2℃ : 農薬登録申請資料	
128~129℃ (20mmHg) : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)	
データなし	
データなし	
データなし	
データなし	
0.00439mmHg (25℃) (推定値) : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)	

データなし

データなし

データなし

水 : 400mg/L (25℃) (実測値) : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)

log Pow=2.31 (実測値) : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

## 融点・凝固点

92.2℃ : 農薬登録申請資料

## 沸点、初留点及び沸騰範囲

128~129℃ (20mmHg) : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)

## 引火点

データなし

## 自然発火温度

データなし

## 燃焼性(固体、ガス)

データなし

## 爆発範囲

データなし

## 蒸気圧

0.00439mmHg (25℃) (推定値) : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)

## 蒸気密度

データなし

## 蒸発速度(酢酸ブチル=1)

データなし

## 比重(密度)

データなし

## 溶解度

水 : 400mg/L (25℃) (実測値) : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)

## オクタノール・水分配係数

log Pow=2.31 (実測値) : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)

## 分解温度

データなし

## 粘度

データなし

## 粉じん爆発下限濃度

データなし

## 最小発火エネルギー

データなし

## 体積抵抗率(導電率)

データなし

---

## 10. 安定性及び反応性

### 安定性

法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる

### 危険有害反応可能性

データなし

### 避けるべき条件

データなし

### 混触危険物質

データなし

### 危険有害な分解生成物

データなし

---

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

#### 経口

ラット経口投与でのLD50=178mg/kg(農薬登録申請資料(1995))に基づき、区分3とした。

#### 経皮

マウス経皮投与での試験において、最高用量の2000mg/kgにおいて死亡例が見られていない(農薬登録申請資料(1995))ことから、区分外とした。

#### 吸入

吸入(ガス): GHSの定義による固体であるため、ガスでの吸入は想定されず、分類対象外とした。



吸入(蒸気): データなし

吸入(粉じん): ラット吸入ばく露の試験において、最高用量の2.1mg/Lで死亡例が見られていないが(農薬登録申請資料(1995))、急性毒性値を確定できないため、分類できないとした。

吸入(ミスト): ラット吸入ばく露の試験において、最高用量の2.1mg/Lで死亡例が見られていないが(農薬登録申請資料(1995))、急性毒性値を確定できないため、分類できないとした。

### 皮膚腐食性・刺激性

ウサギによる皮膚刺激性試験において、刺激性なしとの報告がある(農薬登録申請資料(1995))ことから、区分外とした。

### 眼に対する重篤な損傷・刺激性

ウサギでの眼刺激性試験において、角膜や結膜に刺激性反応が見られたが、4日目までに消失したとの報告がある(農薬登録申請資料(1995))ことから、区分2Bとした。

### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性:データなし。皮膚感作性:モルモットでのMaximization試験において、陰性(感作率0%)との報告があることから(農薬登録申請資料(1995))、区分外とした。

### 生殖細胞変異原性

in vitro復帰変異試験、染色体異常試験、DNA修復試験で陰性の結果があるが(農薬登録申請資料(1995))、in vivoでの試験結果がないため、分類できないとした。

### 発がん性

ラット24ヶ月およびマウス18ヶ月発がん性試験において、試験物質投与に関連した腫瘍の発生がなかったとの報告がある(農薬登録申請資料(1995))ことから、区分外とした。

### 生殖毒性

ラット3世代繁殖性試験、ラットおよびウサギでの催奇形性試験において、繁殖性や胎児への影響がなかったとの報告がある(農薬登録申請資料(1995))ことから、区分外とした。

---

## 12. 環境影響情報

### 水生環境急性有害性

甲殻類(オオミジンコ)の48時間EC50=24µg/L(農薬登録申請資料、2004)から、区分1とした。

### 水生環境慢性有害性

急性毒性が区分1、生物蓄積性が低いもの(BCF=15(既存化学物質安全性点検データ))、急速分解性がない(BODによる分解度:0%(既存化学物質安全性点検データ))ことから、区分1とした。

---

## 13. 廃棄上の注意

### 残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

## 汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

---

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

#### 海上規制情報

IMOの規定に従う。

#### 航空規制情報

ICAO/IATAの規定に従う。

#### UNNo.

2757

#### ProperShippingName.

Carbamate pesticide, solid, toxic

#### Class

6.1

(注意:物質純度に応じて、複数の国連番号あり)

### 国内規制

#### 陸上規制情報

毒劇法の規制に従う。

#### 海上規制情報

船舶安全法の規定に従う。

#### 航空規制情報

航空法の規定に従う。

### 特別安全対策

移送時にイエローカードの保持が必要。

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

重量物を上積みしない。

### 緊急時応急措置指針番号

151

---

## 15. 適用法令

### 毒物及び劇物取締法

劇物(指定令第2条)(政令番号:9-2)

### 海洋汚染防止法

個品運送P(施行規則第30条の2の3、国土交通省告示)

## 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)(政令番号:1-325)

### 船舶安全法

毒物類・毒物

### 航空法

毒物類・毒物

### 港則法

毒物類・毒物

---

## 16. その他の情報

### 略語と頭字語

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

EC50: 有効濃度 50%

IATA: 国際航空運送協会

IMDG: 国際海上危険物

LC50: 致死濃度 50%

LD50: 致死量 50%

RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規則

STEL: 短期暴露限度

TWA: 時間加重平均

### 参考文献

【1】労働安全衛生法 ウェブサイト <https://www.mhlw.go.jp>

【2】化学物質審査規制法(化審法)<https://www.env.go.jp>

【3】化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) <https://www.chemicoco.env.go.jp>

【4】NITE化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP)<https://www.nite.go.jp/>

【5】カメオケミカルズ公式サイト <http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple>

【6】ChemIDplus、ウェブサイト <http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp>

【7】ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト <https://echa.europa.eu/>

【8】eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイト [http://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request\\_locale=en](http://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request_locale=en)

【9】ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイト <http://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg>

【10】有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイト <http://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp>

【11】HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト <https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm>

【12】IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト <http://www.iarc.fr/>

【13】IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイト <http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home>

【14】Sigma-Aldrich、ウェブサイト <https://www.sigmaaldrich.com/>

**免責事項:**

本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本MSDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。